

No.	12-2-8	場所	中川村 四徳川・小渋川合流点	次世代への継承キーワード 情報伝達網整備
名 称	合流点付近の崩壊状況航空写真			
災 害 現 象	斜面崩壊	河 川	四徳川	
補 足 事 項	情報通信網途絶による孤立化	支 流		

概 要	中川村でも最も被害を受けたのが陣馬形山の東側の四徳川沿いで、四徳と桑原・滝沢は家屋・農地の被害が甚大で、後の復旧が見込めず集団移住を余儀なくされた。とくに四徳地区は全戸移住となり流域は、無住の谷となり、700年以上の歴史文化に終始符を打ったのだった。
	<p>●被災当時の記録：有線放送 MHK</p> <p>有線放送は、村内の状況を刻々とキャッチし適切な報道で大活躍した。</p> <p>(中略) 当日の優先放送原稿を災害を想起する資料として次に掲げるが、すべてが鉛筆による走り書きである。(中略)</p> <p>「放送室から。緊急放送のため、ボリュームをいっぱいにしておいてください」「対策本部から。全体的に水害が大きくなり応援はできかねるので、各部落で、総代を中心に水防につとめよ」</p> <p>「水害対策本部からの水害途中経過を申し上げます。四徳・桑原は電話不通のため、その詳しい状況はわかりません。県道・国道、これは竜東・竜西とも全線不通。また下伊那方面との電話連絡もできず、本村は孤立状態にあります」</p>

記 錄



無残に削り取られたツメあと（四徳川・小渋川合流点付近）
白く見えるのが崩壊した沢、太いのが小渋川と四徳川

出 典	「語り継ぐ災害の記録」p.83/「中川村の災害史」p.22
備 考	

諏訪市
岡谷市
辰野町
箕輪町
南箕輪村
伊那市
高遠町
長谷村
宮田村
駒ヶ根市
飯島町
中川村
大鹿村
松川町
高森町
豊丘村
喬木村
上 村
飯田市
南信濃村
清内路村
阿智村
浪合村
平谷村
下條村
阿南町
壳木村
天龍村

No.	12-2-8	場所	中川村 四徳川・小渋川合流点	緯度	35.613767
名 称	合流点付近の崩壊状況航空写真				
地 図	広域図				
地 図	詳細図				
備 考	<p>上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」(通称：イエローゾーン)といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」(通称：レッドゾーン)といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。</p>				